

別紙（５）

【補助事業概要の広報資料】

整理番号 : 26-73

補助事業名 : 平成26年度 国土強靱化に資する地下空間利用の調査研究 補助事業

補助事業者名 : 一般財団法人エンジニアリング協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

発生が予測される大規模地震や異常気象への備えと、国際競争力の持続的な確保・向上を実現する国土強靱化の観点から、国民生活と産業に密接にかかわりのある基幹的インフラ４分野について地下利用推進専門部会で調査研究を行い、「国土強靱化」に資する提言をまとめる。

検討テーマは、

- ①情報通信基盤整備
- ②産業エネルギー基盤整備
- ③都市生活基盤整備
- ④交通基盤整備、

とし、地下空間の有効利用を基本に検討を進め、国民の安全・安心の確保、および産業基盤の強化を目標とする。

(2) 実施内容 (<http://www.ena.or.jp/jka-subsidy-business/h26>)

① 国土強靱化に資する地下空間利用の調査研究

本年度は、各部会で基本情報の調査と問題点の洗い出しを中心に行ったが、大規模災害対策の先進地域でのヒアリング調査、物流の大規模民間施設の調査、交通センサスの膨大なデータ処理による特徴の洗い出しなど、活動は多岐に渡り、それぞれで調査結果をまとめることができた。

② 講演会の実施

近い将来に発生が予想される南海トラフ地震に対し、和歌山県で建設が進んでいる先進的な防災高速道路の設計思想と整備状況の講演を頂いた。

演 題 : 「国土 人と自然のコラボレーション」

講 師 : 一般財団法人国土技術研究センター

業務執行理事 谷本光司氏 (元 国土交通省近畿地方整備局 局長)

2. 予想される事業実施効果

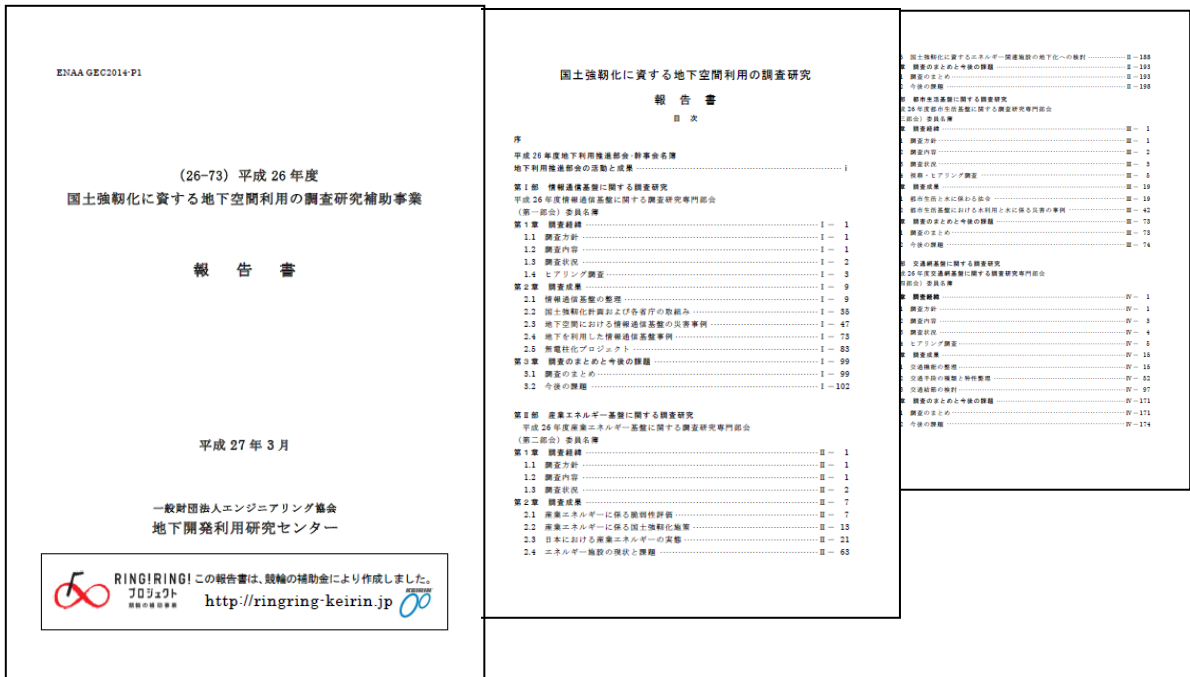
国土強靱化の推進は、国や地方自治体、さらに民間事業者が主体となって国と連携して進めていく必要があり、民間のインフラ整備事業者等が連携した研究会組織として提言を行うことにより、国土強靱化に対して大きな影響力を期待できる。

また、提言により地下空間利用を推進することにより、これまで以上に多様な地下空間工事の施工法に対するニーズが生まれると予想されるほか、サプライチェーンの連続性を確保するための管理・制御・監視システム等の新規需要をも創出する可能性があり、機械工業振興に大いに貢献すると考えられる。

3. 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの (<http://www.ena.or.jp/?fname=26-73.pdf>)

平成26年度 国土強靱化に資する地下空間利用の調査研究補助事業 報告書



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 一般財団法人エンジニアリング協会
(イッパンザイダンホウジンエンジニアリングキョウカイ)

住 所 : 〒105-0001
東京都港区虎ノ門三丁目18番19号(虎ノ門マリビル10階)

代 表 者 : 理事長 佐藤 雅之 (サトウ マサユキ)

担当部署 : 総務部

担当者名 : 部長代理 亀井 秀次 (カメイ ヒデツグ)

電話番号 : 03-5405-7201

F A X : 03-5405-8201

E-mail : kamei@enaa.or.jp

U R L : <http://www.enaa.or.jp>